

封書_フォーマット (Adobe Illustrator)

フォーマットを用いて作成する際の注意点

- ・アートボードサイズは入稿できる大きさで作られているので、サイズは変更しないでください。
- ・印刷イメージは、最終確認が面の印刷イメージプレビューにて確認できます。

原稿作成時の注意点 (Adobe Illustrator)

01. 原稿サイズについての注意点

- ・**原稿のサイズを必ずお守りください。**
各スライドサイズに合わせて、PDF変換後以下の原稿サイズで入稿を行ってください。

【定形内封書】

原稿サイズ : 横210mm×縦297mm(縦向き)、または横297mm×縦210mm(横向き)

- ・三つ折りし封入
- ・最大封入枚数 通常郵便:3枚(片面3頁/両面6頁)、クロネコDM便:5枚(片面5枚/両面10頁)

【定形外封書】

原稿サイズ

A4サイズの場合: 横210mm×縦297mm(縦向き)、または横297mm×縦210mm(横向き)
A3サイズの場合: 横297mm×縦420mm(縦向き)、または横420mm×縦297mm(横向き)

- ・注文時にペラ、平綴じ(ホチキス)、二つ折りから選択
- ・最大封入枚数
【A4原稿の場合】
通常郵便:4枚(片面4頁/両面8頁)、クロネコDM便:50枚(片面50枚/両面100頁)
【A3原稿の場合】1枚で2頁とカウントされます
通常郵便:2枚(片面2頁/両面4頁)、クロネコDM便:25枚(片面25枚/両面50頁)

02. 出力サイズの「白」を最背面に配置する際の注意点

Illustratorで原稿を作成しますと、オブジェクトのサイズで原稿が作成され、原稿サイズの残りの部分は余白として設定されてしまうことがあります。余白が設定されていますと、印刷処理を行なう際に、出力時にズレが生じてしまう場合があります。

【対策】

枠線なしの白い四角形を作成頂きます。四角形の大きさは原稿のサイズ(A4サイズ、またはA3サイズ)となります。
作成した四角形を、最背面に配置し、原稿イメージの下に重ねるよう配置します。
この状態でpdfを生成頂くと、余白は設定されません。

03. アートボードサイズの余白設定に関する注意点

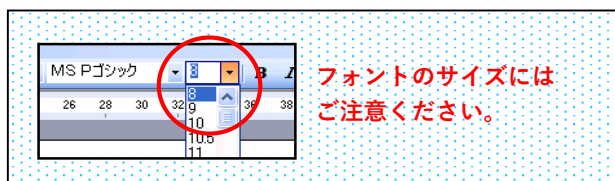
Illustrator上での設定で、【トンボ】や【裁ち落とし】が設定されているとA4サイズ、または、A3サイズに対して、余白が作成されてしまいます。

注文画面の原稿設定の際に、サイズ不備のエラーが発生してしまいますので【トンボ】【裁ち落とし】は設定せずに作成してください。

04. 文字・フォントについての注意点

・8pt以上の大きい文字を推奨します。

小さい文字サイズをご使用される場合、文字の一部が欠ける場合がございます。



05. 特色に関しての注意点

特色を使用して入稿された場合、意図された仕上がりとならない場合があります。

06. カラーモードに関しての注意点

RGBカラーの画像データが配置されていたり、RGBカラーのモードで作成されていると、出力した際に色味が変わってしまったり、出力時のエラーの原因となる場合がございます。

07. 配置に関しての注意点

印刷作業時には、仕上がりサイズにて用紙を断裁いたします。

その際、仕上がりサイズの枠の近くに文字やイラストを配置されますと、きれてしまう可能性がございます。

切れてはいけない文字やイラストは、枠から3mm以上離して配置してください。

08. オーバープリント設定に関しての注意点

出力した際に作成したデータが印刷されていないなどのトラブルとなる場合があります。オーバープリントは画面上で確認できないアプリケーションも多いので、意図しないオーバープリントが指定されていることに気づかない場合があるので注意してください。

09. 特殊効果のラスタライズ化(画像化)についての注意点

特殊効果(例:ドロップシャドウ(影付け)など)でデータを作成した場合、透明効果の個所が分割されてしまうため、その境界線が白いラインとして出力されてしまう場合がございます。特殊効果を使ったデータはラスタライズ化(画像化)することをお願いいたします。

10. 1ファイルの原稿容量についての注意点

1ファイルの原稿容量の上限は30MBです。Illustratorで原稿を制作しPDFに変換する際は、[Illustratorの編集機能を保持する]をオフにして変換すると、不要なデータを除いてPDF変換されるので、ファイルサイズが小さくなります。

PDF変換時の注意点

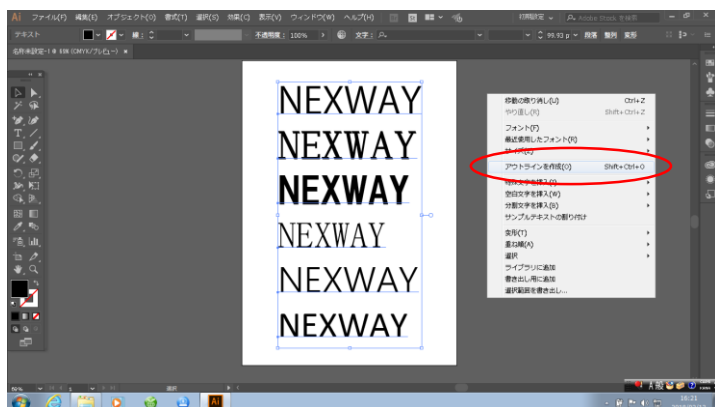
01. フォントのアウトライン化についての確認

PDFに変換する際は必ずフォントをアウトライン化してください。

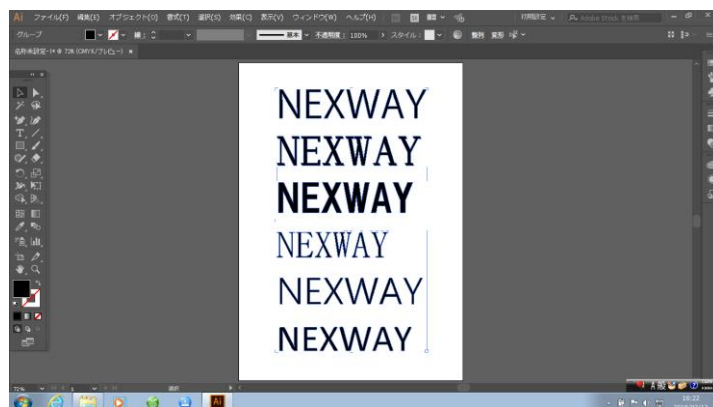
アウトライン化が出来ていないフォントはPDF変換後、PDFファイルを開く環境が作成した環境と異なる場合フォントが正常に表現できない場合がございます。

〔アウトライン化方法〕

- ①原稿を作成します。
- ②作成したら、フォントを全選択し、右クリック。
- ③【アウトラインを作成】をクリック（赤丸参照）。
- ④選択したフォントが、アウトライン化されます。



アウトライン化前



アウトライン化後

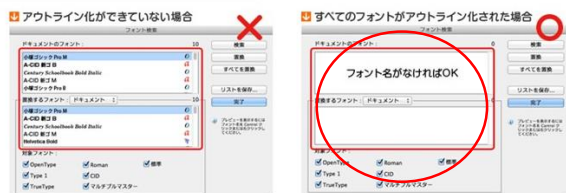
〔アウトライン化の確認方法〕

フォント検索をして、フォントが見つかった場合はアウトライン化できないフォントが残っています。フォント情報がひかれている場合は、アウトライン化が正しく行われています。



- ①【書式】タブをクリック
- ②『フォント検索』をクリック
- ③左図（赤丸参照）のようにフォント情報が表示されていなければアウトライン化完了。

フォント検索
【書式】→【フォント検索】



※アウトライン化を行わず、PDF変換時にフォントを埋め込むことも出来ますが、その場合、出力時にズレが発生することがあります。

※アウトライン化した文字は入力編集ができないので、ファイルのバックアップや別名で保存をするようにしてください。

02. 原稿サイズの確認

【NEXLINK オンデマンド便サービス】ではA4サイズ、または、A3サイズでのご利用となります。PDF変換後に正しい規格サイズになっている事をご確認ください。

〔原稿サイズの確認方法〕

- ①PDFを開きます。
- ②「ファイル」⇒「プロパティ」をクリックします。
- ③「概要」タブをクリックし原稿サイズを確認します。

- 縦向き_A4サイズ(横210mm×縦297mm)
- 横向き_A4サイズ(横297mm×縦210mm)
- 縦向き_A3サイズ(横297mm×縦420mm)
- 横向き_A3サイズ(横420mm×縦297mm)

03. ファイルは正しく開けるか確認

アップロードするPDFファイルにはパスワードをかけないでください。パスワードがかかっていると、読み込み時にエラーとなります。